令和６年度　第２回長野市男女共同参画審議会

〇開催日時：令和７年２月 13 日（木）午前 10 時から

〇場所　　：長野市役所第一庁舎７階　第１・第２委員会室

〇出席者　：委員　12 名

生井 裕子委員、伊藤 拓宗委員、今井 寛委員、小幡 あつみ委員、金　賢仙委員、小林 ひろみ 委員、小林 元志委員、常田 幸永委員仁科　賢人委員、東條 美帆委員、松原 秀司委員、森田　舞委員

〇欠席者　：委員 ５名

上松 則子委員、石坂 みどり委員、滝沢 清和委員、檀原 健吾委員村田 みつ子委員

事務局　５名

藤澤　勝彦 地域・市民生活部長

［人権・男女共同参画課］

小池 秀一課長、瀧澤 圭子課長補佐、畑 順子専門員、相澤 伸彦主査

≪会議概要≫

１　　開会　17 名の委員のうち 12 名が出席。審議会は成立

２　　長野市男女共同参画審議会会長あいさつ

３　　地域・市民生活部長あいさつ

４　　審議事項

〇事務局説明

令和７年度　長野市男女共同参画主要事業計画(案)の説明(資料１)

５　　報告事項

〇事務局説明

（1）令和６年度男女共同参画週間講演会について（資料２）

（2）令和６年度長野市男女共同参画優良事業者について(資料３)

〇質疑・意見及び応答

委　員：参考までにお聞きしたい。優良事業者表彰制度に、何社の応募があって選ばれたのか。

事務局：この表彰は年々応募数が減っている状況で、県の表彰制度も同様に応募が減っている状況。今年は応募が無く、市で優良事業者を調べてい

く中で、当該事業所に話を伺い、応募をいただいた。優良事業者表彰制度が事業所に周知されておらず、周知方法も良くないのかとも考えている。

委員長：女性活躍について情報収集すると、女性の活躍推進起業データベースというサイトがあり、長野市で検索すると何百社とでてくる。掲載のある事業所に募集のチラシを配布するなど有効と思う。

〇事務局説明

(3) 令和６年度長野市男女共同参画に関する市民意識と実態調査について（資料４）

〇質疑・意見及び応答

委　員：長野市役所における管理職以外の女性の正規職員は何名いるのか。

事務局：今年度の女性の職員は 889 名で、正規の全職員 2,851 人のうち、女性の割合は、31.2％である。新規採用職員の女性割合は男女同じか、年度によっては女性の方が多い。課長補佐以上の女性管理職は 15.0％、係長は 22.7％であり、女性も積極的に管理職になって仕事をしていくという意識啓発に取り組んでいる。

委　員：現状の数字で、残りは男性だと、非常に女性が少ないと感じる。女性、男性の賃金格差、非正規も含めて賃金格差はあるのか。

事務局：市の正規職員では、課長、課長補佐等男女の人数が違うため、全体でみると統計的に女性の方が低くなるのは統計的に出ているが、賃金体系で男女差はない。
会計年度任用職員も男女の差は無いが、正規職員と比べると賃金の差があり、正規職員と同じように働いている非正規職員の賃金確保が今後重要と考えている。

委　員：ＤＶの関係で、ＤＶの相談窓口の認知度が 20%で、相談窓口がわからない人が多いという結果の中で、「女性のための相談」の土曜日の相談を中止するという話であるが、相談件数が年間６件と非常に少ないと感じ、これは窓口を知らないということに繋がる。行政の窓口を知らない人が肌感覚として大きく、民間で相談を受けている立場とすると、毎日相談が来ている状況がある。当事者から話を聞くと、相談員がその場限りで、話は聞くが、そこで話が終わってしまい、違う機関や窓口が有ると言われ、繋いでもらっている感覚がない、たらいまわしされたという感覚が残ってしまう。ホットラインが相談しづらいという声が現場にいると聞こえてくる。件数だけでクローズとかでなく、見せ方とか、質の高さとかを何かできたらなと思っている。民間との連

携が今後も継続的にフットワークが軽くできたらと思う。

事務局：実際にＤＶ被害とか担当している部署は、福祉事務所等になるが、当然センターでも、女性の相談窓口を設けており、家庭の問題、ＤＶとかの問題を受けた際は直接担当課に繋げている。また、相談窓口があるという周知が必要と考えている。夜の相談時間の延長は実施後の様子を見ながら臨機応変に対応していきたい。女性のＤＶはいろんな相談窓口が有るが、庁内とも連携を取りながら相談体制を作っていきたい。

委　員：基本目標にある平日の男性の家事参画時間が１時間以上が、51.4%と目標値を超えている。この背景に 30 代の男性の家事時間が伸びている、それが数値を引き上げているという説明があったが、ワーク・ライフ・バランスの実現できていると感じる人の割合が、27%で目標値を達成していない。昨年よりも上昇しているが、仕事優先が男性は 32%、家庭優先だと 30%が女性とあり、家事の参画率のように、年代別に特徴があるのか。

事務局：傾向として男性は稼働年齢層で「仕事」優先とした回答率が高く、女性は同年齢層で、「家庭生活」優先とした回答率が高くなっている。

委　員：ワーク・ライフ・バランスが実現できることの意義は、有職年齢層や子育て年齢層で高いものと考える。調査により、ワーク・ライフ・バランスに課題を抱える世代の現状が明確となり、具体的な提言の検討に繋がる。年齢、男女で大変さや価値がどう変わるか、市民の意識を把握し関わるかが必要である。

委　員：２ページ目の年代別でみると、回答した人の 627 人のうち 65 歳以上が 180 人程度で、回答者の３分の１が定年以上の人となる。仕事をしていない人がいる中で、「仕事」と「家庭」と聞いたときに、過去のことを指して回答しているのか、現在か、少し疑問に思う。年齢だけでは働いている人かは判断できないが、働いている人の意見かどうかは気になる。

事務局：定年延長で就業年齢が伸びているが、ご意見のとおりと思う。
一つ一つ年代をみて細かく見て統計を出すのも一つの指標となる。参考とする。

委　員：長野市役所における男性職員の育児休業の取得率で令和４年度の数字で、令和８年度 30%の目標はクリアしている、目標値自体を上方修正しないのか。

事務局：第六次男女共同参画基本計画策定は来年度から作業を始める。現在の

計画は、令和８年度までの目標であり、次期計画で数字の検討をする委員の皆さんに意見をいただきながら数字、目標値の検討していく。

〇事務局説明

(4) 女性活躍を推進事業するための事業について

ア　令和６年度女性活躍推進事業（起業支援講座）（資料５）

イ　令和６年度女性のための地域活動セミナーについて（資料６）

〇質疑・意見及び応答

委　員：地域活動セミナーに参加し、有意義な会だった。男性も多く、聴講者が大勢来いた。どのような呼びかけをしたのか。年齢層が高かったがすべての回に託児があったが、利用はあったのか。

事務局：各住民自治協議会にお声がけ、特に近隣の住民自治協議会の事務局訪問を行い、参加にいただけた。託児は松代で１回利用があった。

委　員：託児が必要な子育て世代といろんな世代の人との触れ合いがよかったが、若い世代の参加が少なく、もったいないと思う。

委　員：松代で参加し、託児を利用したが、都合で１回参加した。参加している世代は上の年代が多かった。70 歳代の町のことに長年携わっている方から開催の連絡を受けた。土日開催は魅力的だが、土日は子どもの用事、部活の送迎などがネックとなる。子育て層は、女性参画の意識はある。その層だけで集めて、ＺＯＯＭ開催やお茶会やご飯を食べながら、子どもと同じフロアで行われると参加しやすいと思う。

事務局：若い世代の方は、ＰＴＡの時代を過ぎると地域から離れてしまうということを聞いている。どの世代の女性もお声はたくさん持っているが、語る場が無いということが分かったので、世代を超えて参加できるよう工夫したい。

〇事務局説明

(5) ながの地域まるごとキャンパスについて(資料７)

〇質疑・意見及び応答

委　員：チラシの内容が興味深く、今後こうした講義があった場合は、もっと多くの学生に参加してもらいたい。また事業の周知にも携わりたい。今回の地域まるごとキャンパスの参加人数はどれくらいか？

事務局：地域まるごとキャンパスの対象が高校生・大学生となっている。
高校生 121 人、大学・専門学校生 14 人、計 136 人が第１期、第２期の参加者数であり、当事業「ジェンダーを考えよう！」への参加者は高

校生２人の参加となった。

６　その他

〇質疑・意見及び応答

委　員：事業を行うにあたって地域の企業と連携するようなことがあれば、私は商工会議所という立場なので、協力する。
起業ファーストステップ講座では実際起業しようとした人はいるのか。何か勉強できる場所とか情報が必要であれば連絡いただきたい。

事務局：講座に参加した人は 40 名の募集定員に近い方の応募があった。講師として来られた先輩起業家の事業所を借用し、２名ほどが、体験として起業を始めた。

事務局：商工会議所、商工会が良いパートナーとして考えている。副会頭から「一緒にやらないと」とお声がけもいただいている。働く女性のセミナー等は共催させていただきたいと考えている。先程の優良事業者表彰では、会社の取組み内容の周知と素晴らしい企業の周知を、もっと行うことが、一番大事なこと考えている。

委　員：こういった企画を委員の私たちが知らないということがあるので、審議会メンバーをうまく活用してもらいたい。地域の代表の委員がいるので人脈も広くある。せっかく私たちが集まっているので、今後の事業に生かしてもらいたい。

委　員：女性のための地域活動セミナーの築山先生の講演会に参加したが、長野市の女性の区長の参画率が非常に低いという資料を見て、審議会委員の積極的な意見を取り入れていけば、女性の参画率も上がると感じる。

委　員：農家における女性の地位向上として立ち上がった全国にもある団体で長野市でも、ある程度女性の地位が確立してきていて、活動も変わってきているが、私の中では、まだまだ男女格差があるかと感じている。他の審議会の委員も兼務している中で、この委員会は良いことをしているなと感じている。幅の広いことをしている審議会もあるし、男女共同参画に絞って行っていることから、地域の活動などは興味深く、私も参加したいと思う内容があった。篠ノ井は広いので、もう少し小さな地域での開催があったらいい。

委　員：優良事業者表彰が良いと思う。会社のアピールになるし、女性が会社に入社したいと思う人が増えると思う。

委　員：　素晴らしい内容はありながら、どう広報発信していくのかが大事。メインとなるターゲットを明確に絞った方が良い。世代によってターゲットにどういった媒体や形で広報するのか発信の仕方の検討を希望する。

事務局：今回の「女性のための地域活動セミナー」については２地区に絞った。が、広く行うことも良いが、ポイントを絞って行うなど検討を進める。

７　閉会